

京図

きょうと

京都市図書館情報誌
本で広がる世界 本でふくらむ夢
平成27年2月発行

京図ものがたり

4月23日は「子ども読書の日」

特集「いま知りたい谷川俊太郎さんの世界」



学校・幼稚園などへの出前事業を行う軽ワゴン車「京都市図書館 青い鳥号」の車体のイラスト(京都市立銅駝美術工芸高校の藤本 柚香さん(上図)、森崎 天音さん(下図)のデザインです。)

目次

- 2 3 特集 中・高校生向け図書の紹介
- 4 5 特集 いま知りたい谷川俊太郎さんの世界
- 6 図書館の特色紹介 北図書館
- 7 図書館小特集 「第3次京都市子ども読書活動推進計画」の取組紹介
- 8 利用者の声

あなたの好奇心に応える

vol.37



関西から
文化力
POWER OF CULTURE

◆京都市立洛北中学校 川崎 愛有夏さん

『デビクロくんの恋と魔法』

中村航/著 小学館

私が好きな本は『デビクロくんの恋と魔法』です。このお話は、作者の中村航さんが山下達郎の名曲「クリスマス・イブ」をもとに作られたラブストーリーです。男女四人の片想いを描いた物語です。今まで恋愛小説を読んだことがなかったのでハマる心配でした。でも、読みだしてみると意外に面白かったです。この本が恋愛小説にハマるキッカケになりました。皆さんも是非読んでみてください。

◆京都市立八条中学校 林 真由美さん

『モナミは世界を終わらせる?』

はやみねかおる/著 角川書店

主人公のモナミのある意味、天才といえるドジっぶりもポイントですが、そのモナミを守ろうとする男、「丸男」のカッコよく戦う場面がオススメです。そして、ちょっとツンデレな一面や、デレデレのシスコンなところもオススメポイント！登場人物は、皆キャラが濃くて覚えやすく、モナミたちが謎を解いていくところは、ハラハラドキドキしながら読めると思いますし、モナミがドジする時や丸男の意外な一面が見られる時は思わず笑ってしまいます。ぜひぜひ読んでください。

◆京都市立音羽中学校 山崎 菜摘さん

『世界から猫が消えたなら』

川村元気/著 小学館

この物語は、猫と暮らす余命宣言をされた主人公の周りで起こった話です。そんな主人公の前に現れたのは、悪魔でした。主人公は悪魔に「この世界から何かひとつを消す。その代わりに、あなたは一日の命を得ることができる。」と言われ、主人公は生きるために次々と世界からものを消していきます。この本は、命の大切さに気付かされる本です。もし、大切なものが消えてしまったら。そんなことを考えさせられる作品です。

◆京都市立大原野 中学校 松波 亜純さん

『鼻・杜子春』

芥川龍之介/著 金の星社

私は、芥川龍之介の作品が好きです。この本は、芥川龍之介の作品がとてたくさん入っています。その中でも私は『杜子春』が小さいころから好きです。『杜子春』を初めて読んだ時はあまり意味がわかりませんでした。しかし読んでいくうちに意味の深さがわかり、想像をふくらませていると、とてもおもしろく何度も何度も読み返していました。この『杜子春』は人間というものについて、また人の弱さについて書かれていると思いました。だから私はこの本をオススメします。

◆京都市立音羽中学校 三好 奏さん

『福島原発の闇 原発下請け労働者の現実』

堀江邦夫/文 水木しげる/絵 朝日新聞出版

ジャーナリストの堀江邦夫さんが「下請け労働者の一人となることで、彼らと同じ境遇に身を置き、彼らと同じように働き、彼らと同じように放射線を浴びることで原発というものをみつめてみよう」と実際に労働者として働いたことを書いています。原発で働いたことが詳しく書かれていて、原発のこわさが伝わってきました。それに水木しげるさんのさし絵で原発の「闇」が表現されています。原発労働の現実を知りたい方、水木しげるさんのファンの方など、ぜひこの本を読んでみてください。



「おもしろかった本」

毎年、中学校の生徒さん達が「生き方探究チャレンジ体験」として図書の配架や配送、おはなし会などの行事に参加され、図書館の仕事体験しています。今号は、岩倉図書館・山科図書館・南図書館・吉祥院図書館・西京図書館で職場体験をされた生徒さんからの寄稿です。

京図ものがたり vol.37

発行
平成27年2月

編集・発行
(公財)京都市生涯学習振興財団・京都市中央図書館
〒604-8401 京都市中京区聚楽廻松下町9-2
TEL 075-802-3133
ホームページ <http://www2.kyotocitylib.jp/>
携帯サイト <http://www.kyotocitylib.jp/i/>



QRコード

編集後記

小中学校での授業以来、久々に谷川俊太郎さんの著作をひも解き、懐かしい作品たちと再会することができました。4月のトビクリライブのお話も、今からとても楽しみにしています。

図書特別整理のお知らせ

京都市図書館では毎年、蔵書管理の徹底とサービス向上のため、2月から3月にかけての3ヶ月間、順次臨時休館し図書特別整理を行っております。ご理解とご協力をお願いいたします。

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で「子どもと共に育む京都市民憲章」を実践しましょう!



地球環境を守るため、できる限り市バス・地下鉄等をご利用ください。

伏見中央図書館

司書のおすすめ



①『ぼくの嘘』
藤野恵美／著 講談社
オタク男子が学校一の美少女に弱みを握られてしまいます。二人とも大人へのわだかまりを抱えています。恋愛となると全く考えが違います。最後の最後に、彼が付き続けた「嘘」に驚き、唖って、ニンマリします。
※同著者の『わたしの恋人』の姉妹編



②『希望(ホープ)のいる町』
ジョン・パウアー／著
中田香／訳 作品社
ホープはプロのウェイトレスで高校生の頑張り屋さん。育ての親のアディと小さな町に引っ越してきます。町長選挙の騒動に、ホープは正義感を持って立ち向かいます。また、アディの作る料理がどれもおいしそうで「食べ物が人を作る」と言う言葉にうなずけます。



③『勉強するのは何のため?』
トマノイフツク 苫野一徳／著 日本評論社
誰もが一度は考えたことがあるでしょう。みんなが納得する答えはあるの? 自分なりの正解を、自分の頭で考えて、探していくことが大切なのです。



④『東京バンドワゴン』
シヨウジユキキ 小路幸也／著 集英社文庫
東京下町にある老舗古書店「東京バンドワゴン」。四世代のワケあり大家族が様々な事件を家訓に従い解決し、時にはホロリとさせられます。家族全員の本心にあるのは誰かの口癖「Love だねえ。」



⑤『からくさ図書館来客簿』
ナカマチロクエ 仲町六絵／著
株式会社 KADOKAWA アスキー・メディアワークスメディアワークス文庫
京都の一角にある「からくさ図書館」は現世とあの世を行き来する「冥官」小野篁が作り出した私立図書館。上官は安倍晴明。可憐な少女と切り盛りしています。この世でさ迷う、道なし=魂を不思議な書物で天道へ送り出します。

中・高校生向け

司書がすすめる

図書館の紹介



4月23日は「子ども読書の日」

スペインのカタルーニャ地方では、4月23日のサン・ジョルディの日に、親しい人に気持ちをこめて本や花を贈り合う風習があり、この風習に由来して子ども読書の日が4月23日になったとも言われています。
そこで今回は、京都市図書館3館の司書が心をこめて選んだ中・高校生向けの図書をご紹介します。
※「こども読書週間」は4月23日(世界本の日・子ども読書の日)～5月12日です。

洛西図書館

司書のおすすめ



①『王妃の帰還』
ユズキアサコ 柚木麻子／著 実業之日本社
女子学園のクラスでトップに君臨していた「王妃」の転落で、それまで平和に過ごしていた仲良し地味グループの調和は崩壊。穏やかな日常を取り戻すため「プリンセスの帰還作戦」を計画しますが…。



②『くるくるコンパス』
コシガサ 越谷オサム／著 ポプラ社
将棋部の男子3人が、転校してしまった部活中間の女の子に会うため、修学旅行を抜け出して京都から大阪へ。数々の困難を乗り越え、無事たどりつけるのか。そしてたどりついた先にあるのは…?



③『鷹のように帆をあげて』
まはら三桃／著 講談社
親友を交通事故で亡くした中学1年生の理央は、ペットショップで出会った、二人の思い出のちいさな鷹を育て始める。野生を失いつつある鷹は、飛ぶことができるのか?
そして理央が、空を見上げる日はくるのか?



④『医学のたまご』
カイドウタカシ 海堂尊／著 理論社
ごくフツーの中学生が、ひょんなことから「日本一の天才少年」となり、大学の医学部で研究をすることに。中学にも通いながら医学生となった僕は、しょっぱなからなにやらすごい発見をしてしまい…。



⑤『白いキリンを追って』
ローレン・セントジョン／著
さくま ゆみこ／訳 あすなろ書房
火事で両親を失い、イギリスから、南アフリカの鳥獣保護区の祖母のもとでくらすことになった11歳のマーティーン。
この動物達の楽園には、誰もが口を閉ざす「白いキリンの伝説」がありました。
さて、その謎とは?

左京図書館

司書のおすすめ



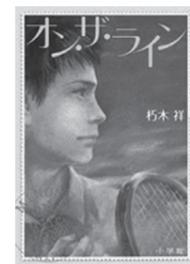
①『楽隊のうさぎ』
ナカザワ 中沢けい／著 新潮社
昨年の全国大会で優勝した花の木中学校・吹奏楽部は、練習が厳しいことで有名です。上級生から声をかけられて入部した克久くんは、次第に音楽のとりこになり、仲間といっしょにコンクールを目指して熱中していきます。



②『カブキブ!』1~3
エダ 榎田ユウリ／著
(株)KADOKAWA 角川書店
学校で「歌舞伎部」を設立しようと奮闘する高校生クロ。集まったのはかなり個性的な面々で!?
読んだらきっと歌舞伎を観たくなる小説です。



③『ぼくは落ち着きがない』
ナガシマユウ 長嶋有／著 光文社
図書室の管理運営を部活動にしている、桜ヶ丘高校「図書部」。
小説の舞台は図書室と、そこに併設された部室。大事件が起こるわけでもないけれど、「ぶつう」の高校生ってこんなものでしょ?・・・なスタンスで描かれる学園小説。



④『オン・ザ・ライン』
クヅキシヨウ 朽木祥／著 小学館
テニス部での練習の日々、ライバルでもある親友、淡い恋。充実した学校生活を送っていた侃(かん)だったが、ある日事件が起きて…。悩み、迷いながらもまた歩き出す希望の物語です。



⑤『世界でたったひとりの子』
アレックス・シアラー／著
カネハワミズヒト 金原瑞人／訳 竹書房
医療が進歩し、外見は若いままで寿命を格段に延ばした近未来。
その代償のように子どもがめったに生まれなくなった世界で、貴重な本物の子どもであるタリンの運命は?

絵本

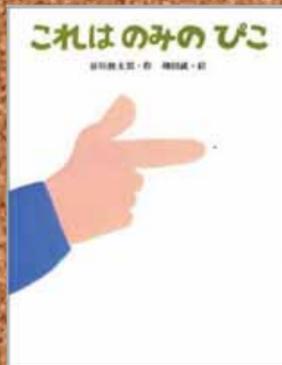
ある日何もする事がなくて穴を掘り始めた男の子。大人には不可解な行動をする子どもの姿が印象的です。親子の読み聞かせにいかがでしょうか？

『あな』
谷川俊太郎／作 和田誠／画
福音館書店



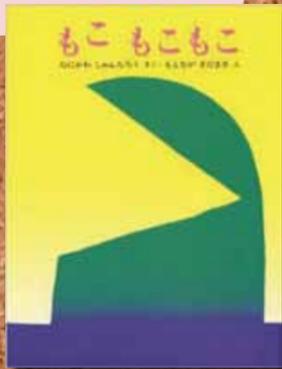
「これはのみのびこ」の一行からはじまり、ページをめくると次々に言葉が増えていきます。繰り返しのリズムが楽しいのでぜひ声に出して読んでみてください。

『これはのみのびこ』
谷川俊太郎／作 和田誠／絵
サンリード



もこ、によき、と「何か」が現れて変化します。ぱく、もぐもぐといった擬音や鮮やかな色で描かれた不思議な世界は、まだ言葉の出ない赤ちゃんから大人まで強く惹きつけます。

『もこもこもこ』
谷川俊太郎／作 元永定正／絵
文研出版



読み物

詩について谷川さんがどんなことを考えているのかなど、いくつもの作品を交えながら、インタビュー形式でまとめられています。

『詩を書くということ』
谷川俊太郎／著
PHP 研究所



翻訳

谷川さんは翻訳家としても知られています。絵本をはじめ、童謡、漫画の翻訳など幅広く手掛け、多くの人に親しまれています。

『にじいろのさかな』
マーカス・フィスター／作
谷川俊太郎／訳
講談社



いま知りたい

谷川俊太郎さんの世界

みなさん実は知らず知らずのうちに教科書や絵本などで谷川さんの作品と出会っています。そのうちの何点かをご紹介します。

教科書



ちいさな魚たちが力を合わせて大きな魚を追いだします。

『スイミー』
レオ＝レオニ／作 谷川俊太郎／訳
好学社



「どきん」「春に」などの教科書に載った詩が収録されています。

『どきん』
谷川俊太郎／著 和田誠／絵
理論社

「朝のリレー」
カムチャッカの若者がきりんの夢を見ているとき

で、始まるこの詩は中学校の教科書に掲載されました。
『谷川俊太郎詩集 続』
谷川俊太郎／著
思潮社



「生きる」
生きているということ
いま生きているということ

この2行から始まる谷川さんの詩から、広がったみんなの「生きる」を集めた本です。

『生きる～わたしたちの思い～』
谷川俊太郎 with friends / 著
株式会社 KADOKAWA



子ども読書の日記念事業

谷川俊太郎トークライブ

～中学生をまじえて～

入場無料
(先着 400名)

平成27年4月18日(土) 午後1時開演(午後0時30分開場)

京都アスニー4階ホールにて

申込先：京都いつでもコール(年中無休:午前8時～午後9時) 申込期間：平成27年3月17日(火)～4月15日(水)
TEL 075-661-3755 FAX 075-661-5855

京都市図書館では、毎年4月23日の「子ども読書の日」を中心とした約2週間、子ども達の読書活動を推進するためのさまざまな事業を行っています。平成27年度は、そのメイン事業の一つとして詩人・谷川俊太郎さんをお招きします。当日は「トークライブ」と銘打って、谷川さんにお話をうかがいながら、ことばの持つ力と豊かな詩の世界を体験する機会にしたいと考えています。あわせて中学生との交流会も実施しますので、中・高校生のみなさんもふるってご参加ください。

小さなお話会

中央図書館では、隣接する聚楽保育所の年長児を招き、毎週「小さなお話会」を開いています。耳から聞くお話を楽しみ、言葉の持つリズムや音の面白さを感じてもらいながら、子どもの言葉の力を育むことを目指していますが、この時使っているのが、谷川さんの『ことばあそびうた』です。手遊びもまじえて、子どもたちに好評です。



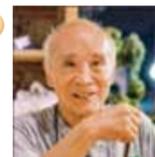
小さなお話会の様子

『ことばあそびうた』
谷川俊太郎／詩
瀬川康男／絵
福音館書店

経歴

谷川俊太郎

参考文献：『谷川俊太郎詩選集 3』集英社
『自選 谷川俊太郎詩集』岩波書店



© 深堀瑞穂

- 1931(昭和6)年 東京生まれ。
 - 1945(昭和20)年 空襲が激しくなり京都の親戚宅に疎開、京都府立桃山中学に転学。翌年には東京へ戻る。
 - 1948(昭和23)年 豊多摩中学(現・都立豊多摩高校)クラスメイト・北川幸比古らの影響で、詩作を始める。
 - 1952(昭和27)年 第一詩集『二十億光年の孤独』を刊行。
 - 1962(昭和37)年 『月火水木金土日の歌』でレコード大賞・作詞賞、受賞。(ほか作詞業として『鉄腕アトム』など。)
 - 1969(昭和44)年 絵本『スイミー』(レオ＝レオニ／作)、漫画『ピーナッツ・ブックス』(チャールズ・M・シュルツ／作)など翻訳業も手掛ける。
 - 1975(昭和50)年 『マザーグースのうた1・2・3』で日本翻訳文化賞、受賞。
 - 1977(昭和52)年 波瀬満子らと、『ことばあそびの会』設立に参加。
 - 1983(昭和58)年 初めての子ども向け詩集『どきん』を刊行。(教科書『国語3上』光村図書出版ほか掲載。)
 - 2001(平成13)年 日本の詩全体の見取り図を書いた『詩ってなんだろう』を刊行。
 - 2011(平成23)年 詩集『トロムソコラージュ』で第一回鮎川信夫賞、受賞。
- 詩作のほか、絵本・エッセイ・脚本など幅広く作品を発表し、現在も新たな詩の可能性を広げる試みに挑戦中。

北図書館が リニューアルオープン!

昭和56年12月に開館した北図書館は、平成26年9月から約3か月かけて耐震工事・改修工事を行いました。

北図書館
 北区紫野雲林院町44-1
 ☎ 492-8810
 市バス「大徳寺前」から徒歩5分



床や壁、照明器具、
トイレも全面的に改修し、
とても快適になりました。



児童用の閲覧机、
イスも新しくなりました。



幼児コーナー

赤ちゃんや幼児のための
幼児コーナーも面積を広げ、
床をコルクタイルに
変えました。



北図書館の周辺

北図書館は北大路堀川交差点を西へ150m、北大路通の北側に面した「京都市北合同福祉センター」の2階にあります。1階には紫野児童館や紫野障害者授産所、3階には北老人福祉センターがあります。

近くには佛教大学、大谷大学、京都産業大学、立命館大学、京都府立大学があり幅広い世代の方々が集う施設です。

また、平安時代の漢学者「小野篁」や「紫式部」のお墓(北大路堀川交差点を南へ100m)、一休和尚が復興し、豊臣秀吉が建立した大徳寺(北図書館から西へ約150m)、明治2年明治天皇により創建された織田信長公をお祀りする「建勲神社」(北図書館から西へ約500m)などがある歴史に囲まれた地域です。



紫式部・小野篁墓石

北図書館の活動

北保健センターが行っている1歳半検診の際に“パパとママのための京都市北図書館利用案内”を配布してもらっています。



パパとママのための
京都市北図書館利用案内



ぬいぐるみお泊り会
(お泊りしたときの記念写真を差し上げています)



にじのこ文庫さんによる「赤ちゃん絵本よみかせ」
毎月第1月曜日、にじのこ文庫さんによる絵本の読みかせ、紙芝居、親子で行う手遊びなどを行っています。



ティーンズコーナー

小学校高学年から中・高校生の皆さんが楽しめそうな本を集めた「ティーンズコーナー」も充実しています。



外国語コーナー

英語を学習したい子どもさんや大人の方のために、主にCD付の資料を中心に集めています。



「第3次京都市子ども読書活動推進計画」の 取組紹介

京都市図書館では、子どもの読書を応援する様々な取組を行っております。
皆さん、どうぞ図書館に足をお運びください。

気軽に楽しく使えるオリジナルノート

<乳幼児保護者用読書ノート>を作りました。

お子さんとゆっくり心ふれあうひとときを大切に…。

そんな時間を書き留めてみましょう。お子さんに初めて読んであげた本や何度もくりかえし読んであげた本など、お子さんの成長とともに読書の記録を書き込めるノートです。

京都市図書館で配布しています。詳しくは職員にお尋ねください。



出前事業専用 軽ワゴン車「京都市図書館青い鳥号」活動開始

幼稚園や小中学校との連携を今後一層推進していくため、園や学校への出前事業専用の軽ワゴン車「京都市図書館青い鳥号」を配備し、昨年11月から活動を開始しました。最大200冊の本を積んで、学校などに出向いて、本の紹介や貸出等を行います。

なお、車のイラストは、京都市立銅駝美術工芸高校の生徒さんのデザインです。



図書館の児童コーナーを改装

小さなお子さんと一緒に気兼ねなく過ごすことのできる図書館を目指して、京都市の地域図書館の児童コーナーを、5ヶ年計画で、順次整備しています。

平成27年1月末までに北図書館・久世ふれあいセンター図書館の児童コーナーが新しくなりました。



北図書館



久世ふれあいセンター図書館

